

## 【10-2-6】 履修モデル（外国語学部英米語学科）

英米語学科では、英語の実践的な能力を磨くための＜英語力強化科目＞「英語 101～英語 206」、＜英語力発展科目＞「英語プロジェクト1～4」および演習が必修科目となっています。

これらの授業科目以外はすべて選択科目であり、どの授業科目を履修するかは、卒業するための条件や授業時間割上の制約などがありますが、基本的にはみなさんが自由に決めることができます。しかしながら、明確な学修計画を立てずに、ただ決められた単位数を数字の上でそろえるだけの履修のしかたでは、たとえ4年間在籍したとしても、英米語学科の卒業生にふさわしい能力と見識をもつことはできません。したがって、自らの学修目標にあわせて、各々の授業科目の内容や開講時期（配当年次）を考慮しながら系統的に履修しなければなりません。

ここでは、みなさんの学修計画が立て易いように、以下の3つの履修モデルを示します。

- A. 高度な英語実践力を身につけるモデル
- B. グローバルな企業人をめざすモデル
- C. エアラインや旅行・観光業界就職をめざすモデル

### A. 高度な英語実践力を身につけるモデル

高度な英語運用能力を身につけたい学生や、英語教員・海外での日本語教員をめざす学生に対応します。資格試験で高得点をめざすだけでなく、＜英語で学ぶ科目群＞を履修することで、「使える」英語の獲得をめざします。

この履修モデルでは以下のような授業を履修します。

英語で学ぶ科目群	上級英語 1、リサーチ&スピーチ、英語プレゼンテーションなど
英語力発展科目	留学英語上級、TOEIC 英語上級、英語同時通訳入門など
その他	海外事情（留学）など

### B. グローバルな企業人をめざすモデル

英語力を武器にして、グローバル社会の中で自分のキャリアを切り開いていくための力を身につけるモデルです。英語力だけでなく、国際感覚やビジネスに関する知識を得たい学生に向いています。

この履修モデルでは以下のような授業を履修します。

英語力発展科目	グローバル英語、ビジネス英語、留学英語中級など
キャリア形成科目	ビジネス翻訳、社会と企業など
その他	海外事情（留学）、アメリカ研究 1、グローバル・イシューなど

### C エアラインや旅行・観光業界就職をめざすモデル

エアライン関係（キャビンアテンダントやグラウンドスタッフ）やツーリズム関係（旅行代理店、ホテル）をめざしている学生に対応しています。就職の際に必要な TOEIC のスコアアップに加え、実践的な授業を受けることで即戦力を身につけることができます。

この履修モデルでは以下のような授業を履修します。

英語力発展科目	エアライン英語、ツーリズム英語、TOEIC 英語中級など
キャリア形成科目	エアラインサービス論、ツーリズム研究、ホスピタリティ論 2 など
その他	海外事情（留学）など

もちろん、ここにあげた 3 つの履修モデルは、あくまでモデルケースとして考えたもので、これら以外にもみなさんの学修意欲と目的に応じて、自分自身の履修パターンをつくることができます。

重要なことは、どんな優れた語学プログラムでもそこだけの学修で言語を習得するのは無理だという認識です。英米語学科の教育課程（カリキュラム）も優れたものではありません。学習者の日々のトレーニング抜きでは、英語運用能力を実用水準にまで高めることはできません。授業を十分に活用し、課題をこなし、ネイティブの教員や留学生と積極的に英語でコミュニケーションをとることが大切です。また、通学時などの細切れの時間を利用することも考えてください。コンピュータ、CD、DVD などを利用して、音声言語としての英語に慣れましょう。このための時間として年間 400 時間を目標とするとよいでしょう。

さらに、年間 1,000 ページくらいを目標に、英語の読み物やニュース記事などを読んでみるのも重要です。読めるスピードが聞けるスピードだと言われています。簡単な英語のレベルの読み物でいいので、多量の読み物を読みましょう。高校 1 年レベルの英文が直読直解できるようになることが第 1 の目標です。英語は勉強というよりもトレーニングです。水泳などのスポーツと同じです。知識だけでは泳げません。水も飲みますし、溺れもします。しかし、それがあって泳げるようになるのです。英語もそうです。間違えてかまいません。恥をかいていいのです。そのような繰り返しの中で知識としての英語がスキルに変化していくのです。みなさんは本学科に入学できた知識をもっているのですから、まずはそれを使ってみましょう。TOEIC700 点になれば、あるいは英検準 1 級に合格すれば英語が聞き、話せるのではないのです。今のみなさんが持っている英語力を使うことから始まります。野球で身を立てたいと思う人が毎日素振りをするのと同じように、英語のトレーニングを習慣づけてください。そして、いつもどのようにすれば効果的なトレーニングができるかを意識してください。

さらに本学の特徴である留学は、英語をより深く身につけるために大きな効果が期待できます。そればかりでなく、英語を話す人々の文化を理解し、自分自身を客観的に見る機会を与えてくれます。これらのプログラムにも積極的に参加して、英語学修の効果を一層高めてください。

## ◎学びの流れ

